

憲法を生かし、中小商工業の力で循環型経済・社会を

HP・メールニュース〈No.4〉

2013年7月26日

参議院選挙を通じ頑張れば情勢は変えられるという確信も生まれています。

しかし、数の上では与党が多数を獲得しただけに、今後ますます安倍政権の暴走にストップをかける国民の運動が求められます。東京・神奈川は合同で飛行機 120 席分を確保するなど大いに学ぼうという意欲的な取り組みもできています。

商工交流会は、全国の先進的な取り組みを学ぶ絶好の機会ですし、実践を交流し、自主的に学びあう場です。分科会への持ち込みレポート・報告もどしどしお寄せください。

☆コンテンツ☆

- ・ パネル B 北海道・足寄と愛知のおひさま
- ・ 第 8 分科会 料飲サミット第 3 弾

◇パネル B 北海道・足寄町・愛知のおひさま自然エネ（株）が参加

パネル B には高知・梶原町とともに北海道・足寄町の参加が決まりました。

足寄町は、北海道十勝の東北部に位置し、東は阿寒国立公園、西は大雪山国立公園を有する自然豊かなまちです。町村の中では日本一広く、森林面積は沖縄本島に匹敵します。

豊富なバイオマスを利用して地元産の資源を活用した地域振興を積極的に推進しています。H13 年に「足寄町地域新エネルギービジョン」および「足寄町木質バイオマス資源活用ビジョン」を策定し、他地域に先駆けた取り組みをすすめています。



H17 年に官民協働により木質ペレット工場が操業を開始、H18 年には町内産カラマツによる大断面集成材をふんだんに使った役場庁舎を建設、その熱源に木質ペレットボイラーを導入。基幹産業の農業では、H14 年に家畜ふん尿バイオガスプラントを導入し、その後のバイオガスプラントの普及にも貢献しています。新エネルギービジョンから 10 年が経過した H23 年、これま

での様々な実践から得られた教訓を生かし、「足寄町バイオマスタウン構想」を策定しています。構想では、地域産業から発生する副産物（林地残材・家畜ふん尿）を次世代エネル

ギーとして導入することで、石油に依存しない新たな産業・雇用を生み出し、持続可能な地域社会の構築を目指すことです。

そして、都市部で実践に取り組んでいるのが愛知・おひさま自然エネルギー株式会社です。この7月に第2種免許を取得。今後、市民ファンドを募り、公共施設や事業所・工場などの屋根を借りて市民の手で太陽発電するプロジェクトや省エネ事業などをすすめる予定です。NPOの作り方から運営ノウハウも含めて、取り組みが詳しく報告されます。

◇第6分科会 全国料飲サミット第3弾—チェーン店に負けない店づくり 助言者 小寺倫明・兵庫県立大学大学院准教授



ます。

***** 《参加申し込みについて》 *****

1、日時・開催場所

第1日：9月7日（土）12：00～〔会場：岡山市民会館・大ホール〕

【全体会】基調報告／講演・三井逸友・嘉悦大学教授／特別報告

【パネルディスカッション】【憲法講座】15：00～18：00

A：新しい地域創造への挑戦—憲章・地域振興条例を力に一

B：実践・再生可能エネルギーによる循環型地域づくり

C：いま、輝く地域密着の家族経営

講座「憲法を考える」

参加者交流会（サン・ピーチOKAYAMA）18：30～参加費：5000円

第2日：9月8日（日）

9：00～15：00【分科会】14分科会〔岡山大学津島北キャンパス・文法経済学部棟〕

2、参加費 2日間：10,000円、学生・院生3,000円

問合せ・参加申込は民商・全商連まで

参加申込用紙・リーフレットをお送りします。参加費を添えて8月25日（木）までに実行委員会に申し込んでください。

全商連 ☎03-3987-4391／宿泊希望は、シモデンツーリスト ☎086-224-8811

第18回中小商工業全国交流・研究集会